

ナイジェリア経済月報（11月）

- ・中央銀行は12月15日からの新紙幣発行を発表しました。200ナイラ、500ナイラ及び1,000ナイラの現行各紙幣は2023年3月31日から使用不可となります。
- ・ラゴス国際見本市にジェットロが日本館を出展しました、約20社が出展参加しました。
- ・ナイジェリアの原油生産は、投資資金不足、石油窃盗、輸出ターミナルの停止等から減少傾向が続いていましたが、10月の原油生産量は日量1,057万バレルとなり、9月の生産量から日量3.3万バレル増加しました。
- ・10月31日にレッキ深海港（ラゴス州）の完工式典が行われました。2020年6月から中国港湾工程により建設されていました。ラゴス及びレッキの両フリーゾーンに隣接し物流拠点となることが期待されています。

対日経済関係

1 ラゴス国際見本市への日本館出展

7日から12日にかけて、当地各紙は日本貿易振興機構（ジェトロ）によるラゴス国際見本市への日本館出展及び日本企業の参加（11/4～13）について報じるとともに、同館開館式において、谷波ジェトロ・ラゴス事務所長が、日本企業による対ナイジェリア投資への関心は高い一方、投資環境の課題改善が必要と述べた旨を報じた。

<https://guardian.ng/business-services/industry/japan-leverages-fair-for-improved-ties-with-nigeria/>

<https://www.vanguardngr.com/2022/11/japanese-investors-deepen-interest-in-nigerian-market/>

対外経済関係

1 エミレーツ航空のナイジェリア路線運行休止発表

3日、当地各紙はエミレーツ航空（EK）が10月29日からナイジェリア路線を運行休止している旨を発表したと報じている。同社声明では、中央銀行（CBN）が同社への外貨割当て要求に対応することを約束したにもかかわらず、外貨交換ができていないとしている。同社は、同じ問題で、9月に一時運航を停止し、その後、ナイジェリア政府との協議の結果、同月中に運行再開していたが、再びの運航停止となった。

<https://www.thisdaylive.com/index.php/2022/11/04/emirates-suspends-flights-to-nigeria-indefinitely-over-blocked-funds/>

2 コギ州と中国とのビジネス対話

10日、ヤハヤ・コギ州知事は、当地中国大使館で開催された、コギ州と中国の企業家との産業と貿易に関する対話に出席した。コギ州知事は、中国とのビジネス・投資機会拡のた

めの用意があると述べたのに対し、崔大使は、最近のコギ州訪問を振り返り、コギ州と中国には多くの共通点があると述べるとともに、相互協力により、特に発電及び原子力の分野で多くのことが達成されるだろうと述べた。

<https://www.nannews.ng/2022/11/11/kogi-china-expand-business-relations-as-state-govt-targets-n591bn-annual->

[igr/?fbclid=IwAR0QBpbVyYqg7xTr5jU2gsgsM2114lxm2QAuHwbYouK1d4Y4qn1RGEOQL5Y](https://www.nannews.ng/2022/11/11/kogi-china-expand-business-relations-as-state-govt-targets-n591bn-annual-igr/?fbclid=IwAR0QBpbVyYqg7xTr5jU2gsgsM2114lxm2QAuHwbYouK1d4Y4qn1RGEOQL5Y)

3 韓国大使のBUA財閥会頭往訪

12日、BUAグループ(セメント、食品等の企業を有する財閥)は、SNS上で、キム・ヨンチェ韓国大使がBUA財閥会頭を往訪、既存ビジネス及び経済関係の深化について話し合いを行った旨を発表。

<https://www.facebook.com/BUAgroupNG/posts/pfbid0kN3ktmSuTrsP1WK5bZP1ZHCjAhp4nBXemJEpEToiMcg1EjnAM4jASEmmPu8GPQ52l>

マクロ経済

1 2022年10月の消費者物価指数(CPI)

14日、国家統計局(NBS)は消費者物価指数(CPI)を発表、ナイジェリアの2022年10月のインフレ率(対前年同期比)は21.09%と17年ぶりの高水準となり、9月に記録した20.77%から0.32%ポイント上昇した。食品インフレ率も前月の23.34%から23.72%に上昇、コアインフレ率も17.6%から17.76%に上昇した。NBSは、対前年同期比指数の上昇要因は、食料品の供給途絶、通貨安の継続による輸入コストの上昇、エネルギーコストの上昇など生産コストの全般的な上昇によるものと説明した。

<https://nigerianstat.gov.ng/download/1241253>

2. 債務持続可能性に関する債務管理局長の説明

18日、オニハ債務管理局長は、ナイジェリア通信(NAN)のインタビューに対して、DMOは、債務持続可能性分析(DSA)と4年ごとの中期債務管理戦略(MTDS)といった、世銀及びIMFの債務管理ツールを活用しており、のMTDS 2020-2023により、借換えや為替リスク等の債務関連リスクが緩和されることを期待すると説明、ナイジェリアのGDPに占める公的債務総額の割合は、6月30日現在で23.06%であり、世銀及びIMFが推奨する55%の閾値及びナイジェリアのMTDS 2020-2023で定めた40%という自主制限値の範囲内であることを明らかにした。また、公的債務に対する国内債務比は60%であり、公的債務ポートフォリオ全体の為替リスクへのエクスポージャー中程度であること、2023年末までにMTDSの目標比率である7対3を達

成する見込みであると説明した。

<https://www.nannews.ng/2022/11/18/debt-sustainability-we-deploy-tools-strategies-on-borrowing-says-dmo/?fbclid=IwAR3gVlkVQROzbPpr9q2WI77DPYri1KrxMQvX47Izruvaoc9CqhJ-xW4QnPY>

3 多次元貧困指数 (M P I) 報告書発表

17日、ナイジェリア多次元貧困指数 (M P I) 報告書 (2022年版) が初めて発表され、アグバ予算・国家計画担当国務大臣は、国別 M P I は、利用可能な社会福祉の機会とその取り込みのギャップ要因を調査することを目的としており、連邦政府は、調査結果を、集中的な資源配分のための政策ツールとして活用すると述べた。本調査により、各州の貧困レベルが大きく異なり、多次元的貧困の発生率は、オンド州の27%からソコト州の91%にまで及んでいることが明らかになった。

https://www.nannews.ng/2022/11/18/poverty-report-will-be-used-for-resource-allocation-fg/?fbclid=IwAR3u54dG-sLjNq_5gFgCQgt50QHGlal_nZsr2Pxc_9jxrbtnPOYjPXv6BZ4

経済政策

1 ナショナル経済サミット開催

14日、オシンバジヨ副大統領は、ブハリ大統領代理として「ナショナル経済サミット」の開会式に出席した。今回のサミットのテーマは「2023年以降」で、大統領演説 (副大統領代読) では、「2023年以降：繁栄の共有のための優先事項」というテーマで、国家開発計画2021 - 2025を始め、若年層の育成、マクロ経済改善、気候変動問題、温室効果ガス排出量ゼロの必要性、アフリカ諸国のための債務環境スワップ、C O P 27でのアフリカ炭素市場イニシアチブの立ち上げ、デジタル活用、社会福祉プログラム改善等の施策の重要性を強調しながら、パートナーシップ、革新的な思考、統制のとれた実行が、どのように経済成長と生産性を高めることができるかを説明した。

<https://www.facebook.com/TheAsoVilla/posts/pfbid0mctrhpyPQB2u6x7TjNSbkePH9UdbS2VCnbz3yWAejHzTU2EAhvqSYnNd7PERXRXhl>

金融

1 新紙幣発行に関するブハリ大統領コメント

9日、ブハリ大統領は、チャールズ国王との会談後の記者会見において、ナイジェリア中央銀行 (C B N) が計画している新紙幣発行について、政府として後戻りすることはないと述べるとともに、2023年の総選挙において、政治家が有権者を威嚇するために資源や暴漢を動員することは許されないと述べた。

<https://www.thisdaylive.com/index.php/2022/11/11/buhari-no-going-back-on-naira-redesign/>

インフラ

1 レッキ深海港完工

10月31日、レッキ深海港(ラゴス州)の完工式典が行われた。中国港湾工程(CHEC)の子会社、China Harbour Engineering LFTZ Enterprise(CHELE)が約15億ドルのEPC(設計・調達・建設)契約を請け負い、2020年6月15日に着工、2022年10月24日に完工した。完工に伴い、レッキ・フリー・ポート・ターミナル(仏大手海運会社CMA/CGMグループの子会社)による港湾運用が開始される。

<https://www.facebook.com/LekkiPort/posts/pfbid0Bu3SnnGgH8ywuKff1UgqiLJCVV MtBi7oavgjWzaitvHuT5KyD8ezPNo6FWQSuzR8l>

<https://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=newssearch&cd=&cad=rja&uact=8&ved=2ahUKEwjxm-e0ppf7AhVNxQIHHTS5BxkQxfQBKAB6BAgSEAE&url=https%3A%2F%2Fwww.thisdaylive.com%2Findex.php%2F2022%2F11%2F01%2Fchina-harbour-completes-construction-of-1-5bn-lekki-deep-sea-port%2F&usg=AOvVaw3sNSoqnqaT2xcZmNqnuK4i>

2 ナイジェリアとカメルーン国境整備

3日、クロスリバー州で行われたナイジェリアとカメルーン国境をつなぐムフム/エコク橋(全長1.5km)及び共同国境ポストの引渡し式にダダ外務担当国務大臣がブハリ大統領代理として出席、「両国の人々とコミュニティの相互接続性を高め、生活水準を改善し、地域間貿易への障壁を減らし、国境の安全を強化する。現在進行中のナイジェリア/カメルーン高速道路・交通円滑化プログラム(NCMH&TFP)の一環であるこのプロジェクトが、両国間及び地域経済共同体間の継続的な協力と良好な関係をもたらすだろう。」と述べた。

<https://www.facebook.com/TheAsoVilla/posts/pfbid0D8aMxmGACWbVdUzZ2ydEYbjnWR4TTrbPbZcp6d2JJYz2r5HzdYt7KRFJcwxpBhdbl>

3 鉄道近代化計画に関する対外借入れ

3日、サンボ運輸大臣は、国会の国土海洋交通合同委員会に出席、同省の2023年度予算に関連する説明の中で、鉄道近代化工事中のカドゥナ・カノ間、ポートハーコート・マイドゥグリ間、カノ-マラディ間について、中国、ポルトガル、トルコの金融機関から数十億ドル規模の融資を受け、国内各地で進行中の鉄

道プロジェクトを完成させることを希望していると述べた。

<https://thenationonlineng.net/govt-looks-to-china-portugal-turkey-for-loans-to-complete-rail-projects/>

エネルギー・環境

1 気候変動枠組み条約第27回締約国会合（COP27）

エジプトで開催中のCOP27のサイドラインで、8日、ブルームバーグ・フィランソロピーと Sustainable Energy for All (SEforALL)が主催するクリーンエネルギー移行イベントが開催され、ブハリ大統領代理として出席したアブドゥラヒ環境大臣は、アフリカの気候変動の影響に対処するため、先進国を中心とした緊急の気候変動対策を呼びかけた。

<https://www.facebook.com/TheAsoVilla/posts/pfbid0HQ3rK8FNSf7hocdp77G23N4SuAwCmkgEbZ3jRDb6KStWkLZRPqCczahqALsfhvm1>

<https://www.premiumtimesng.com/news/headlines/564162-cop27-we-cant-afford-more-delays-blame-game-should-stop-buhari-says.html>

2 アブジャ地域の送電能力向上

11日、アリユ電力大臣は、ナイジェリア送電会社（TCN）が実施している "Abuja Ring Project" を視察、連邦政府は電力供給向上のため、TCNの送電網及び変電施設を増改修し、送電容量を1ギガワット以上増加させる計画を明らかにした。工事は90%以上完成しており、11月～12月に完工予定。ナイジェリア電力供給産業（NESI）の能力向上のため、2018年にブハリ大統領政権が事業を承認、フランス開発庁（AFD）から1.7億ドルの融資を受けている。

https://www.nannews.ng/2022/11/11/fg-to-increase-tcn-wheeling-capacity-by-1000-megawatts-minister/?fbclid=IwAR2iXO5uHED460XoQi__jrXLTy6VBT5ypzgW8NSs3BGHw4_ZCH-SzL5h5e4

石油・天然ガス

1 中国系石油開発企業の撤退

2日、国営石油会社（NNPC）は、中国中国石油化工集団（Sinopec）の子会社である Addax Petroleum Nigeria 社との間で、石油鉱区での開発事業に関する長期間にわたる紛争の結果、NNPCと Addax 社との間で資産譲渡、和解、撤退に関する合意署名に達した旨の声明を発表した。NNPCは、紛争は友好的に解決され、石油鉱区への必要な投資及び成長の道を開くことができたと述べている。

<https://www.facebook.com/nnplimited/posts/pfbid02j7RDWRFcGZCzeg4bRkaW7fxL4Svr6RtoFf>

TbeabZd2eAWTpuMLtyt5bBLXTESwNKI?__cft__[0]=AZW4aRhlg5IF0nuIC8Wzai3Ug59RpUSy
6uuf4pB350gISo7s9HDZYtX7A8tJu1j_z_D-rK0TXtGAtznMmtF6rcelwetcVhI-
EvBYnJyvkDbq9ISHo_2tl_BzpQhzFjtvOeBzadV2wQDLDX5GQMosKwDBNIp8l7Oe-
5C7_LFVFuAYop0QUOdC4FJQC2Q_wOpK9yI&__tn__=%2CO%2CP-R

2 原油生産見通しに関するNNPCグループ社長発言

2日、クヤリNNPCグループ社長は、アラブ首長国連邦で開催された石油サミット(Adipec 2022)にパネリストとして登壇、ナイジェリアの原油生産量が年末までに日量180万バレルに達する可能性があるが、できれば11月末までに現在の日量145万バレルから増加し、来年半ばから日量220万バレルに更に増加すると発言した。

<https://twitter.com/nnplimited/status/1587747538744098816>

<https://www.thisdaylive.com/index.php/2022/11/06/kyari-fg-scaling-up-deepwater-projects-Ing-plans/>

3 OPEC石油市場月報

14日、OPEC事務局は10月の石油市場報告を発表、ナイジェリアの原油生産量は日量1,057万バレルとなり、9月の生産量から日量3.3万バレル増加した。OPECプラスの生産割当てに対する未達量は日量76.9万バレルだった(未達量は前月の日量80.5万バレルから縮小した。)

[https://momr.opec.org/pdf-](https://momr.opec.org/pdf-download/res/pdf_delivery_momr.php?secToken2=b77267b12365c5141a887270e5910ac6715bb724)

[download/res/pdf_delivery_momr.php?secToken2=b77267b12365c5141a887270e5910ac6715bb724](https://momr.opec.org/pdf-download/res/pdf_delivery_momr.php?secToken2=b77267b12365c5141a887270e5910ac6715bb724)

4 UTMオフショアの浮体式液化天然ガス施設建設に関する事前調査契約締結

16日、UTMオフショアは、ナイジェリア初の浮体式液化天然ガス(FLNG)施設のフロントエンド・エンジニアリング・デザイン(FEED)を開始するため、英国(ロンドン)で3社の技術パートナー(KBR(英)、日揮、テクニップ・エナジー(仏))と契約締結した。3社とのFEED契約は、UTMオフショア社がプロジェクトのEPC(設計・調達・建設)フェーズに先立ち、FLNG施設の技術的課題把握及び概算投資コスト見積りのための各種調査の実施が主な内容であり、実施スケジュールは10か月としている。

<https://www.thisdaylive.com/index.php/2022/11/18/utm-offshore-jgc-technip-energies-sign-agreements-on-nigerias-flng/>